

滄水会ニュース

滄水会ニュース 第25号 発行:2015月8月 発行者:滄水会会長 服部信治

編集委員:藤井信之 田村仁志 前川秀幸 和田浩一 吉水健剛 藤野栄一 松本和重 藤田紀勝

宮崎真一郎 塚崎英世 二宮敬一 中谷 努 山﨑尚志

〒187-0035 東京都小平市小川西町2-32-1 職業能力開発総合大学校校内 滄水会事務局

FAX: 042-346-7879 E-mail: sousuikai@uitec.ac.jp

服部会長からのご挨拶

私はこの度、滄水会会長に再任されました10期の服 部でございます。

職業能力開発総合大学校が1961年、小平の地に創立されてから今年で54周年を迎えました。この54年間に、高度経済成長、バブル経済とその崩壊、長期デフレ低迷期の中で発生したリーマンショック、そしてその回復がやっと見えてきたところでの東日本大震災と原発事故勃発など日本は大きな波にもまれながら変動してまいりました。

この間、本大学校は1973年に相模原に移転し、2011年には独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構に移管され、2013年4月には創立の地である小平に戻ってまいりました。本大学校の卒業生の人数は9,000名弱でありますが、同窓会の活動また卒業生の皆さんの交流のためには同窓会名簿が大事な役割を担っています。しかしながら2003年から個人情報保護法が施行され、12年

間改定が行われていませんでした。同窓会名簿の発行には多くの困難と事務作業が発生するなか理事の方々のご尽力により昨年、名簿を発行することができました。卒業生の皆様におかれまして連絡が途絶えていた同窓生との交流を再開し旧交を温めていただくのに役立

てていただきたいと思います。

私も会長再任にあたり、副会長、学内理事のご協力のも と同窓会の発展に尽力したいと思います。最後に、卒業生 の皆様のますますのご活躍とご健勝をご祈念いたします。



平成26年度卒業式・滄水会賞授与式

平成 27年3月20日(金)東京都小平市にある『ルネこだいら(小平市民文化会館)』で平成26年度職業能力開発総合大学校卒業式が挙行され、本会からは服部会長が出席し、祝辞を述べられました。さらに、服部会長より将来、社会において大いに貢献が期待される卒業生4名に「滄水会賞」が授与されました。受賞者のみならず、すべての卒業・修了生のご活躍と社会への貢献を、滄水会会員一同心より祈念しております。

受管理から喜びの声

この度は、滄水会賞を受賞することができ、非常に光栄で嬉しく思います。入学してからの4年間を振り返りますと、忙しくも充実した日々であったと感じます。私が建築を学び始めたのは職業大に入学してからのことでしたので、入学当初は学業



に対する不安を抱いておりましたが、先生方の丁寧で思いやりのある暖かい指導と共に助け合える良き友人たち



後列左より 機械システム工学科 福原健司、電子情報システム工学科 内野浩幸、電気システム工学科 Nugroho Christian Sihombing、建築システム工学科 田中優介

のおかげで、充実した大学生活を送ることができました。 心より感謝しております。私は現在、宮城職業能力開発 促進センターの職業訓練指導員として業務に携わらせて いただいております。毎日、訓練や資格試験の勉強に励 んでいる訓練生の方に対し自分は何をすべきなのか、何 をすることができるのかを考えながら毎日を過ごしてい ます。一日でも早く受講生の方の助けとなるため、私自 身の能力を向上させられるように精進していきたいと思 います。 (建築システム工学科 田中優介)

特集 1 職業大に新たな修士課程

職業大は小平の地に移転統合して3年が過ぎようとし ています。全面移転する1年前に開講した新しい学士課 程(総合課程)の初めての卒業生を本年度送り出すこと になっており、新生職業大は着実に歩みだしているとこ ろです。ご存知のように前の学士課程であり指導員養成 課程であった長期課程は学生募集を中止したわけです が、長期課程とともに研究課程(修士相当課程)も学生 募集を中止しましたので、現在職業大には一般大学の大 学院に相当する課程はありません。しかし、まさに新し い課程の卒業生が誕生しようとしている今、厚生労働省 および機構本部の関係部局のご支援と、何よりも職業大 古川勇二校長の尽力により、来年4月開講を目途に新し い修士相当課程が計画されています。すでに職業大には 修士課程設置準備室が設けられ、修士の学位授与機関で ある大学評価・学位授与機構と詳細な打ち合わせが行わ れているところです。今、計画されている修士相当課程 についてご紹介します。

新しい修士相当課程の名称は「職業能力開発研究院」といいます。この研究院は機械工学専攻、電気工学専攻、電子情報学専攻、建築学専攻の4専攻から構成され、それぞれの専攻には10科目の特論が用意されるほか、共通科目として生産工学系10科目の特論が配当される予定です。生産工学系10科目のうち3科目は能力開発に

特化した科目であり、本研究院を特徴づける科目になっています。このほかに修士論文を作成するための科目として特別実験実習 I、II、IIがそれぞれの専攻に用意されています。特別実験実習を行うことにより修士論文を作成し、合計40単位を取得したうえで修了試験並びに研究論文の審査に合格することが本研究院の修了条件です。本研究院を修了した学生は大学評価・学位授与機構が行う口頭試問等に合格することで修士(生産工学)が授与される予定です。以上が新しい修士相当課程として予定されている概要です。

この研究院は新しい指導員養成課程である長期養成課程の内に作られるので、職業能力開発研究院は指導員養成課程として位置付けられます。総合課程は指導員候補者を育成する課程の様相を呈していますが、来年度、指導員養成課程に進学を希望している半数以上の学生がすでに職業能力開発研究院への入学を希望していると聞いています。そのことからも、本学学生の本研究院に対する期待の大きさが伝わってきます。

滄水会の会員の皆様におかれましては、新しく生まれ変わった職業大をこれまで以上に応援していただけるよう教職員─同職務に邁進する所存ですので、─層ご指導で鞭撻くださいますようよろしくお願いいたします。

(職業大 教授・修士課程設置準備室長 遠藤龍司)

特集2 職業大フォーラム2015開催のご案内

職業大では、今年で第3回目となる「職業大フォーラム2015」を開催します。職業大フォーラムは"知の創造を小平から"のキャッチフレーズのもとに、職業能力開発に係るあらゆる分野の研究成果の発表と議論の場を提供することを目的とする「職業能力開発研究の全国大会」です。職業訓練指導員、学生、企業の技術者・技能者・研究者のどなたでも応募いただけるあらゆる分野の研究発表、人気銘柄「プレミアムモルツ」の開発を

成功に導いたサントリー武蔵野ビール工場長 岡 賀根 雄 氏による特別講演、そして、これまで職業大を卒業 したアジア地域からの留学生を中心としてこれからのアジアの産業と職業能力開発を議論するアジア職業訓練シンポジウム(Asia Vocational Education Training Symposium: AVETS)から構成されています。 滄水会のメンバーの皆様も是非、職業大フォーラムにご参加くださいますようご案内申し上げます。

- 1. **開催日** 平成27年10月30日 (金) · 10月31日 (土)
- 2. **会 場** 職業能力開発総合大学校 〒187-0035 東京都小平市小川西町2-32-1

3. イベント

- (1) アジア職業訓練シンポジウム (AVETS) (10月30日(金)9:40~12:10、3号館階段教室)
- (2) 職業能力開発研究発表講演会 (10月30日(金) および31日(土)、3号館各教室)
- (3) 特別講演 サントリー武蔵野ビール工場長 岡 賀根雄氏 (10月31日(土) 13:00~14:30、3号館階段教室)

4. 参加費

無料 (事前の聴講申し込みも不要です)。

5. 大会ホームページ

詳細は以下の大会ホームページをご覧ください。 https://www.uitec.jeed.go.jp/kiban/research/ (研究発表講演会への講演申し込みにつきましても、 上記ホームページをご覧ください)

【職業大フォーラム事務局】

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 職業能力開発総合大学校 基盤整備センター普及促進課 TEL: 042-348-5075、FAX: 042-348-5098 email:fukyu@ uitec.ac.jp

平成28年度職業能力開発職(職業訓練指導員)募集について はには

当機構では、平成27年4月から平成29年4月の間に採用する職業訓練指導員について、職業能力開発総合大学 校長期課程を卒業された皆様を対象に採用選考を実施いたします(今年で2年目)。

長期課程を卒業され豊富な経験をお持ちの皆様だからこそ、求職者や学卒者の方へ就職に必要なものづくりに関す る技能・技術指導や就職支援などを行う公共職業訓練の現場で、ご活躍できると期待しております。

これまでの経験と技能・技術を活かしていただき、私たちとともに社会貢献いたしませんか。皆様の積極的な応募 をお待ちしております。

記

1. 募集職種

(必要な指導員免許)

機械 溶接 電気 電子情報 建築

(機械科、溶接科、電気科、電気工事科、電子科、コンピュータ制御科、建築科、建設科)

2. 待遇

①基本給 卒業後の応募職種関連実務経験年数によるモデル基本給

221、000円(この金額は3年実務経験の場合です。3年を超える場合は、経験年数に応じて加算されます。) この他、扶養手当、通勤手当、住居手当、地域手当等が加算されます。

- ②昇 給年1回
- 与 年2回 ③賞
- ④休日・休暇等 完全週休2日制(土日)、国民の祝日、年末年始、年次有給休暇、夏季休暇等
- ⑤福利厚牛 健康保険、雇用保険、厚牛年金、厚牛年金基金、労災保険等各種社会保険
- ⑥定 年 等 60歳定年 ※ただし、定年後、65歳まで再雇用制度あり。
- ⑦勤 務 地 職業能力開発促進センター、職業能力開発促進センター訓練センター 職業能力開発大学校及び職業能力開発短期大学校

3. 応募資格

職業能力開発総合大学校長期課程卒で応募職種関連実務経験が 平成28年3月31日までに3年以上有する方。

※職業能力開発総合大学校は旧職業能力開発大学校及び旧職業訓練大学校を含みます。

4. 選考内容と選考会場

(1次試験) 小論文試験 於:最寄りの職業能力開発促進センター

於:機構本部 (2次試験)役員面接

※選考会場の所在地については、当機構ホームページを参照してください。

(https://www.jeed.go.jp)

5. 募集内容及び応募方法(応募に関しては、平成27年10月2日(金)まで随時受付します。)

募集内容の詳細及び応募方法は、当機構ホームページをご覧ください。

(https://www.jeed.go.jp)

(ただ今掲載中!)

【問い合わせ先】

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 総務部人事課人事第五係 〒261-8558 千葉市美浜区若葉3-1-2 電話番号 043-213-6128,6129 FAX番号 043-213-6808

当機構は、職業能力開発総合大学校を運営しております

滄水会役員の紹介と活動方針

平成26年10月18日に滄水会通常総会にて役員改選が行われ、満場一致で承認されました。任期は平成29年9月30日までの3年間となります。滄水会を盛り上げるため、服部会長を中心に役員一丸となり頑張らせて頂きますのでよろしくお願いします。また、滄水会の活性化を目的として「部門」を新設させて頂きました。

今期の活動目標は、「同窓生ネットワーク構築の強化」です。これまでの諸先輩方の意思を受け継ぎ、母校や同窓生同士とのつながりを大切にし、同窓生が自発的に集い、連絡が密にできるような「同窓生ネットワークの構築」を目指します。各部門の活動方針は以下の通りです。

○新役員体制

役 職	氏 名	所属	卒業科・期	担当部門	備考
会長	服部 信治	(株)アーバネットコーポレーション 代表取締役社長	建築10		
副会長	岡部 敏弘	近畿大学 分子工学研究所 客員教授	木工15	名簿管理	部門長
	小路 幸市郎	サイエンスパーク(株)代表取締社長	電気17	企画	部門長
	藤井 信之	職業大 教授	溶接18	総務	部門長
理事	萬野 三男	NPO法人日本エンプロイアビリティ支援機構 理事	板金11	国際	部門長
	前川 秀幸	職業大 准教授	建築15	広報	部門長
	秦昌樹	神奈川県立西部総合職業技術校 校長	溶接19	組織	部門長
	紀高志	(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構 本部 調査役	運輸20	広報	
	和田浩一	職業大 教授	木材22	国際	
	吉水 健剛	職業大 准教授	電気23	名簿管理	
	藤野 栄一	職業大 准教授	建築29	組織	
	松本和重	職業大 助教	電子30	組織	
	藤田 紀勝	職業大 助教	電子31	広報	
	宮崎 真一郎	職業大 助教	福祉32	名簿管理	
	塚﨑 英世	職業大 助教	建築35	企画	
	二宮 敬一	職業大 助教	福祉36	国際	
	中谷 努	職業大基盤整備センター 開発研究員	電子36	企画	事務局次長兼務
	山﨑 尚志	職業大 助教	建築39	総務	
事務局長	田村 仁志	職業大 准教授	電子32	総務	
会計監査	渡邉 信公	職業大 教授	電気15		
	池田 知純	職業大 准教授	福祉31		
顧問	尾身 嘉一	大栄工業株式会社 代表取締役会長	木材加工1		
	永守 重信	日本電産(株) 代表取締役社長	一電3		
	富崎 元成	特許業務法人 よつ葉国際特許事務所 代表社員	機械フ		



○活動方針

【総務部門】 ・運営費の管理及び増資の検討★

- ・総会、滄水会賞に関する審査会、理事会及び部門調整会議の運営
- 【名簿管理部門】 ・会員情報の管理及び質向上★
- ・「滄水会名簿」の管理及び問い合わせ対応

【組織部門】

- ・同窓生間の交流や情報発信がスムーズに行える組織(仕組み)検討★
- ・各地で開催されている同窓会イベントの情報収集★

【国際部門】

- ・留学生(職業大在籍中も含む)情報の整理★
- ・各国における留学生代表者の選定★

- ・滄水会ニュースの発行及びWebページの管理及び更新・・・職業大在校生及び同窓生に対する広報活動
- ・新たな情報発信手法の検討及び実施(Webページのあり方検討も含む)★

【企画部門】

- ・他部門と連携し、同窓生間や職業大在校生との交流が活発になるようなイベントの企画及び運営★
- ・事務局と連携し、各部門間の調整・連携のサポート

※★は重点取り組み項目

事務局便り

●住所変更等のお願い

●住所変更等のお願い ――

4

会員の皆様の住所変更等がございましたら、滄水会事務局まで ご連絡をお願いいたします。

住所変更方法は、同封しております会員調査票に記載の上、滄水会事務局までFAX(042-346-7879)をして頂くか、e-mail (sousuikai@uitec.ac.jp)宛に、ご送付願います。ご不明な点などがございましたら、事務局までお問い合わせ下さい。

●維持寄付のお願い -

滄水会では、会員入会後20年ごとに滄水会維持発展のために

維持寄付をお願いしております。20年目の節目に是非、滄水会

を盛り上げていただきたく、ご寄付をお願い申し上げます。 今年度維持寄付依頼対象は「1994年(平成6年、31回)卒 業の会員」となっております。該当の会員には払込取扱用紙を同

乗り会員」となってあります。該当の会員には払込取扱用紙を向 封いたしましたので、次の要領で払い込みくださいますようお願 いいたします。

維持寄付金:一口 5,000円(できるだけ2口でお願い申し上げます) 払い込み方法:同封の払込取扱用紙をご利用の上、最寄りの郵便

局から払い込みください。